

DW-1001 : 国内第I相臨床試験が開始される

- DW-1001の導出先であるロート製薬は健康成人を対象とした国内第I相臨床試験を開始したと3月28日に発表した。本開発品は、他の疾患の治療薬として既に発売されている本化合物を、眼科領域における特定疾患の治療薬として開発が進められている。DW-1001はデ・ウエスタン・セラピテクス研究所（DWTI）が2015年に英国企業から日本での権利を取得し、2019年にロート製薬に導出したものである。
- これまでの非臨床試験で有効性と安全性が確認された結果を踏まえ、本試験では健康成人を対象とした単回投与時、および反復投与時の安全性と薬物動態を評価する。ロート製薬の開発コードは、“ROH-202”である。DWTIは、本試験の開始と同時に、導出契約に基づきロート製薬からマイルストーンを受け取ることになるが、この収入は2022/12期の会社予想に既に織り込み済みである。
- DWTIは、すでに販売されている化合物の適応症を他の疾患に拡大することで、特定疾患の治療薬として開発を目指している。所謂、このリポジショニングアプローチのメリットは、開発コストとリスクを低減できることである。

DW-1001

適応症	眼科治療薬（対象疾患は非開示）
開発過程	国内第I相臨床試験
Licensee	ロート製薬株式会社

これまでの開発過程

2022.03	国内第I相臨床試験
2019.12	ロート製薬と日本でのライセンス契約を締結
2015.06	英国企業より日本における開発権を取得

出所：3月28日同社開示資料よりSIR作成

News Flash



D. WESTERN THERAPEUTICS INSTITUTE

注目点

緑内障や高眼圧症などの眼科疾患のキナーゼ阻害剤メカニズムの研究開発と治療薬の創製に強みを持つ創薬バイオベンチャー

クリス・シュライバー CFA
アナリスト
research@sessapartners.co.jp



本レポートは株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所からの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームーをご覧ください。

ディスクレイマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都渋谷区広尾5-3-18

info@sessapartners.co.jp